

事業レビュー対象事業

・事業シート

【第2班：健康・福祉・高齢者に
関する事業】

事業シート (概要説明書)		事業番号	86						
予算事業名	高齢者福祉対策費事業	事業開始年度	H17以前						
事務事業名	高齢者生活支援事業	担当局・部名	保健福祉部						
上位施策名	生活支援の充実	担当課・課名	介護福祉課						
根拠法令等		グループ係名	高齢福祉G						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	永作 賢司						
実施の背景	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう日常生活上の支援を行う。								
目的 (何をどうしたいのか)	高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のため、必要な措置を講じ高齢者の福祉の増進を図る。								
対象 (誰・何を対象に)	高齢者	対象者数 (全住民に対する割合)							
		93 人	(0.3 %)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :)								
	<input type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :)								
	<input type="checkbox"/> その他 ()								
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標						
	○日常生活用具給付事業	146 千円	31件設置						
	○訪問理美容サービス事業	214 千円	登録者11人						
	○軽度生活援助事業	588 千円	登録者6人						
	○カラオケ (玉造地区のカラオケ会4団体に対しカラオケができる環境を提供)	486 千円	玉造カラオケ会14名 玉造愛好会62名						
関連事業 (同一目的事業等)									
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)				
	事業費合計	1,889 千円	1,434 千円	1,379 千円	2,011 千円				
	事業費内訳 (平成25年度分)	○日常生活用具145,800円 (火災報知器@4,320×25件+@3,888×5件、電磁調理器等@18,360×1件) ○理美容総合賠償保険料5,990円、傷害保険料76,500円、委託料132,000円 (登録11人@3,000×44回) ○軽度生活援助587,788 (登録6人 計281時間利用) ○カラオケ整備等管理委託料136,466円、情報利用料108,000円、機器使用料240,660円							
	年度	27年度		26年度		25年度			
	担当正職員	0.6 人	2,293 千円	1.0 人	3,832 千円	1.1 人	4,171 千円		
	臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	0 千円		
	人件費合計	0.6 人	2,293 千円	1.0 人	3,832 千円	1.1 人	4,171 千円		
	総事業費	4,182 千円		5,266 千円		5,550 千円			
	人件費比率	55%		73%		75%			
	財源内訳	年度	27年度		26年度		25年度		24年度
国県支出金		千円		千円		千円		千円	
内容									
地方債		千円		千円		千円		千円	
その他特財		48 千円		47 千円		43 千円		48 千円	
内容		カラオケ機器使用料		カラオケ機器使用料		カラオケ機器使用料		カラオケ機器使用料	
一般財源		1,841 千円		1,387 千円		1,336 千円		1,963 千円	
財源合計	1,889 千円		1,434 千円		1,379 千円		2,011 千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H26年度	H25年度	H24年度
						実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
						達成率	達成率	達成率
		○日常生活用具給付事業			件	31 /	11 /	7 /
		○訪問理美容サービス事業			人	11 /	12 /	15 /
		○軽度生活援助事業			人	6 /	9 /	17 /
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	高齢者の衛生的で安全安心な生活を図る						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H26年度	H25年度	H24年度
						実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		利用者からは感謝され好評を得、目標は達成していると考えられる。今後も事業の継続が必要である。				/	/	/
					/	/	/	
					/	/	/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 2,600 (千円)</p> <p>カラオケ団体が使用するテレビはH26年購入したもので、故障が危惧される。また、カラオケ機器のレンタル料金について、H27年度は5年間の故障時の補償が切れたものを再リースしたため、価格はそれまでの約1/10で済んだが、これも故障時には、新しい機器をレンタルすることになる。テレビ買い替え料: 約50万円、カラオケ機器新規レンタル料: 約25万円×5年=125万円</p>							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>・鹿行地区の市町村の状況 ○日常生活用具給付事業(銚田市) ○訪問理美容サービス事業(神栖市、銚田市) ○軽度生活援助事業(鹿嶋市、神栖市、潮来市)</p>							
特記事項	<p>・玉造地区カラオケ会(4団体)のこれまでの経過 「玉造老人いこいの家」が平成22年3月31日で閉鎖したことに伴い、それまで社会福祉課で担当していた高齢者のカラオケが、4月より「玉造農村環境改善センター」の休館日にカラオケ機器を設置し継続されることになり、「老人いこいの家」廃止に伴う特例措置として介護福祉課へ所管替えされた。</p> <p>平成26年度より新玉造小学校が出来ることに伴い、放課後児童クラブが「玉造農村環境改善センター」を利用したいとの事から、平成25年5月よりカラオケ機器を移転し、手賀学習センターを利用することとなった。</p> <p>利用に伴って、トイレの改修(奥に押す戸を手前に引く戸に変更及び簡易洋式トイレの設置・それに伴う水流しレバーの位置の変更)をおこない、放課後児童クラブとの調整等を行った。</p> <p>しかし、利用日が月曜日の休館日であった為、平成26年度からは(第1~第4)水曜日又は木曜日へと変更し現在に至る。</p>							

事業シート (概要説明書)		事業番号	88										
予算事業名	高齢者福祉対策費事業	事業開始年度											
事務事業名	緊急通報システム事業	担当局・部名	保健福祉部										
上位施策名	生活支援の充実	担当課・課名	介護福祉課										
根拠法令等		グループ係名	高齢福祉G										
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	永作 賢司										
実施の背景	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう日常生活上の支援を行う。												
目的 (何をどうしたいのか)	ひとり暮らし高齢者等に緊急通報システム事業を実施することで、日常生活上の緊急事態における不安の解消を図る。												
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	ひとり暮らしの高齢者等	対象者数 (全住民に対する割合) 434 人 (0.7 %)										
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接 ・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :) <input type="checkbox"/> その他 ()											
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き) ひとり暮らし高齢者等の住宅に緊急通報端末機を設置することで緊急時に速やかに救援を行う。	事業費 1,540 千円 活動指標 利用者237人 (H27.3.31現在) 新規設置者34名										
	関連事業 (同一目的事業等)	行方市愛の定期便事業											
	コスト	年度 27年度 (予算) 26年度 (決算見込み) 25年度 (決算) 24年度 (決算) 事業費合計 3,082 千円 1,540 千円 3,854 千円 3,082 千円 事業費内訳 (平成26年度分) 鹿行広域緊急通報センター通話料102,617円、端末機架設料374,155円、端末機保守点検料152,647円、端末機購入料864,000円、端末機給付費43,200円、消耗品費2,680円 1台の購入費 43,200円 1台の設置・設定料 10,800円											
財源内訳	年度	27年度		26年度		25年度		24年度					
	担当正職員	0.3	人	1,233	千円	0.3	人	1,241	千円	0.3	人	1,238	千円
	臨時職員等	0.0	人		千円	0.0	人		千円	0.0	人		千円
	人件費合計	0.3	人	1,233	千円	0.3	人	1,241	千円	0.3	人	1,238	千円
	総事業費	4,315 千円		2,781 千円		5,092 千円							
人件費比率	29%		45%		24%								
年度	27年度		26年度		25年度		24年度						
国県支出金													
内容													
地方債													
その他特財													
内容													
一般財源													
財源合計	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円						

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		救急車出動19件中15件搬送			15 /		28 /		24 /	
		協力員処理（停電通報）8件			8 /		4 /		13 /	
主要な事業活動単位 当たりコスト		総事業費(円)	/	円						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	近隣協力者、鹿行広域事務組合消防本部、市が協力し、ひとり暮らし高齢者等の緊急時に速やかに救援できる体制づくりを図る。								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		協力員、関係機関との連携システムを確立し 緊急時に、速やかに救援することができた。			/		/		/	
			/		/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額（予定）： 4,000 (千円)</p> <p>ひとり暮らし高齢者等の緊急時に簡単な操作で通報することができ、速やかな救護を行うことで高齢者の不安を取り除くことができ、有効な事業と考える。また、利用希望者も増加しており今後も事業の継続が必要と考える。H30年に機器の老朽による交換が88台あるため、数年に割り振るなどの方法が必要となる。</p>									
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	鹿行広域事務組合消防本部管内の状況 銚田市の契約者件数 197件 潮来市の契約者件数 38件 県内の状況 水戸市、土浦市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、常陸大宮市、那珂市、かすみがうら市、小美玉市、茨城町、大洗町、大子町、鹿島地方事務組合、茨城西南地方広域市町村圏事務組合、筑西広域市町村圏事務組合、常総地方広域市町村圏事務組合								
特記事項										

事業シート (概要説明書)		事業番号	92				
予算事業名	地域介護予防活動支援事業	事業開始年度	20				
事務事業名	シルバーリハビリ体操普及事業	担当局・部名	保健福祉部				
上位施策名	介護予防対策の促進	担当課・課名	介護福祉課(地域包括)				
根拠法令等	介護保険法	グループ係名	地域包括				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 法定受託事 (該当する方をクリック)	作成責任者	平野 義明				
実施の背景	超高齢社会の到来による、高齢者の介護予防及び介護経費の増加						
目的 (何をどうしたいのか)	高齢者が要介護状態等になることを防止する。仕事を退職された方に、シルバーリハビリ体操指導士の資格を取得してもらい、地域で高齢者に体操を指導し、介護予防を普及、住民が住民を支える拠点や基盤をつくる。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	概ね65歳以上の高齢者	対象者数 (全住民に対する割合) 10,991 人 (31.4 %)				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は 指定管 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接, <input type="checkbox"/> 間接] (補助先: 実施主体:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (謝礼 シルリハ体操指導士会)					
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費				
		シルリハ体操教室 脳はつらつ教室 (認知症予防) フォローアップ事業	1,201 千円 427 千円 3,000 千円	活動指標 市内34ヶ所 (月2回) 5回コース2教室開催 ふれあい広場、高齢者サロン等の開催			
	関連事業 (同一目的事業等)						
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	事業費合計	9,092 千円	5,622 千円	6,538 千円	8,271 千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	シルリハ体操指導士謝礼: 1,201千円 フォローアップ事業: 3,000千円 介護予防脳はつらつ教室: 427千円 需用費: 360千円 郵送料: 111千円 自動車保険料: 92千円 傷害保険料310千円 コピー機使用料: 121千円					
	年度	27年度		26年度		25年度	
	担当正職員	0.7 人	2,506 千円	0.7 人	2,747 千円	0.7 人	2,692 千円
臨時職員等	0.3 人	540 千円	0.3 人	540 千円	0.3 人	540 千円	
人件費合計	1.0 人	3,046 千円	1.0 人	3,287 千円	1.0 人	3,232 千円	
総事業費	12,138 千円		8,909 千円		10,070 千円		
人件費比率	25%		37%		32%		
財源内訳	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	国県支出金	3,390 千円	2,108 千円	2,451 千円	3,101 千円		
	内容						
	地方債	千円	千円	千円	千円		
	その他特財	4,520 千円	2,811 千円	3,269 千円	4,135 千円		
	内容	1号保険 支払基金	1号保険 支払基金	1号保険 支払基金	1号保険 支払基金		
	一般財源	1,182 千円	703 千円	818 千円	1,035 千円		
財源合計	9,092 千円	5,622 千円	6,538 千円	8,271 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率	
		シルリハ体操教室(市内34ヶ所 月2回)		カ所	34 / 45		34 / 40		31 / 35		
		介護予防脳はつらつ教室(2教室5回)		人	30 /		38 /		24 /		
		ふれあい広場、高齢者サロンの開催			/		/		/		
主要な事業活動単位 当たりコスト		総事業費(円)	/	9092000/3	円	9092000/4628000					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	シルリハ体操教室は34カ所(前年度34カ所)と維持									
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率	
		地域の介護予防拠点の基盤づくり		カ所	34 / 45		34 / 40		31 / 35		
		シルリハ体操指導士養成		人	6 / 20		7 / 20		6 / 20		
			/		/		/				
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	※平成28年度予算要望額(予定) : 9,000 (千円) 介護保険給付の抑制には有効的な施策であり、今後も、シルリハ体操指導士の養成を行いながら、リハビリ体操教室及び参加者の継続、拡大を図っていく必要がある。										
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	シルリハ体操は、茨城県立医療大学付属病院の初代太田仁院長の提唱による茨城県独自の介護予防体操であるため、県内各市町村でも実施されている。 潮来市：28ヶ所 銚田市：4ヶ所									
特記事項	シルバーリハビリ体操指導士：26年度末120名登録、72名が活動。 教室 26年度：延べ参加者数6,603人(実参加者数611人) 25年度：延べ参加者数6,472人(実参加者数597人)										シルリハ

事業シート (概要説明書)		事業番号	103							
予算事業名	健康まちづくり推進事業		事業開始年度	H25						
事務事業名	健康支援システム委託事業		担当局・部名	保健福祉部						
上位施策名	成人・高齢者保健対策の推進		担当課・課名	健康増進課						
根拠法令等			グループ係名	総務企画G						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者	河野久三子						
実施の背景	H25年3月に策定した「行方市健康づくり計画」に基づき、病気を治すという治療医学の考えではなく、病気になる前に食生活や運動習慣を変えていこうという予防医学が大切との考えから、市民の健康づくりを推進する事業として健康づくり機器等を活用したフィットネスルームを白帆の湯へ設置して開始。									
目的 (何をどうしたいのか)	個人の健康状態に応じた健康づくりを実施し、健康に対する意識を高める。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市民 (高校生以上)		対象者数 (全住民に対する割合)						
				30,220 人 (85 %)						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 : 株式会社T H F)								
		<input type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接 ・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :)								
		<input type="checkbox"/> その他 ()								
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標							
	・初回行方市フィットネス講習会 (講義・実技を受講した方に修了証を交付) ・トレーニング指導専門スタッフ (講習会を修了した方のトレーニング指導)	1,685 千円	・初回行方市フィットネス講習会 11回実施(168人) ・トレーニング指導専門スタッフ 36回実施(参加者:344人)							
関連事業 (同一目的事業等)										
コスト	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)		
	事業費合計	1,718 千円		1,685 千円		1,460 千円		千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	健康支援システム委託料 1,684,800円								
	年度	27年度			26年度			25年度		
	担当正職員	0.3	人	1,005 千円	0.3	人	1,310 千円	0.3	人	1,321 千円
	臨時職員等	0.0	人	千円	0.0	人	千円	0.0	人	千円
	人件費合計	0.3	人	1,005 千円	0.3	人	1,310 千円	0.3	人	1,321 千円
	総事業費	2,690 千円			2,770 千円			2,781 千円		
	人件費比率	37%			47%			47%		
	財源内訳	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)	
国県支出金		千円		千円		千円		千円		
内容										
地方債		千円		千円		千円		千円		
その他特財		千円		千円		千円		千円		
内容										
一般財源		1,718 千円		1,685 千円		1,460 千円		千円		
財源合計	1,718 千円		1,685 千円		1,460 千円		0 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		初回メディカルフィットネス講習会		回	11 / 11	100%	22 / 22	100%	/	
		トレーニング指導専門スタッフ		回	36 / 36	100%	/		/	
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	個人の健康状態に応じた健康づくりを実施し、健康に対する意識を高める。								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		初回メディカルフィットネス講習会		人	168 / 132	127%	252 / 154	164%	/	
		トレーニング指導専門スタッフ参加者		人	344 / 288	119%	/		/	
					/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : (千円)</p> <p>☆メディカルフィットネス継続利用者のフォローアップを行っていく。講習会修了者420名(H27.3月末)となり、効果の検証を実施する方向である。今年度、利用度の高い利用者についてアンケートを実施し、各自の目標に対しての達成度などを検証。また、利用度の少ない利用者に対しても現状等アンケートを実施する方向である。フィットネスルームは市民の交流の場所であり健康に関する情報発信のできる場所づくりとしても必要な部分である。市民一人ひとりが健康づくりの自覚を持ち、楽しく身体を動かして生涯的にいきいきと元気な健康のまちとなるよう基礎づくりを目指していく。</p>									
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>☆近隣市町村のトレーニングルーム設置状況 潮来市…1ヶ所、銚田市…2ヶ所、鹿島市…1ヶ所、神栖市…3ヶ所</p>								
特記事項										

事業シート (概要説明書)		事業番号	104				
予算事業名	健康まちづくり推進事業	事業開始年度	H25				
事務事業名	食と健康づくり事業	担当局・部名	保健福祉部				
上位施策名	成人・高齢者保健対策の推進	担当課・課名	健康増進課				
根拠法令等	行方市食と健康づくり事業補助金要綱、行方市健康づくり推進協議会設置要綱	グループ係名	総務企画G				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	河野久三子				
実施の背景	平成25年3月に策定した「行方市健康づくり計画」に基づき、市民の健康増進・改善、健康づくりへの意識高揚を図るため平成25年度から開始。						
目的 (何をどうしたいのか)	市民の健康づくりの意識高揚を図るため、研修会、講習会、体験等イベントの開催を実施。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市民	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 [<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接] (補助先: 健康づくり推進協議会 実施主体: 健康づくり推進協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標			
		健康フェスタ (イベント・講演会等)	658 千円	健康フェスタ(6月・2月)			
			千円				
		千円					
関連事業 (同一目的事業等)							
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	事業費合計	850 千円	658 千円	2,769 千円	千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	食と健康づくり事業補助金 (健康フェスタ6月、2月実施) →657,393円					
	年度	27年度		26年度		25年度	
	担当正職員	0.5 人	1,769 千円	0.5 人	2,137 千円	0.5 人	2,154 千円
	臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円
	人件費合計	0.5 人	1,769 千円	0.5 人	2,137 千円	0.5 人	2,154 千円
総事業費	2,619 千円		4,906 千円		7,385 千円		
人件費比率	68%		44%		29%		
財源内訳	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	国県支出金	千円	千円	千円	千円		
	内容						
	地方債	千円	千円	千円	千円		
	その他特財	千円	千円	千円	千円		
	内容						
	一般財源	850 千円	千円	千円	千円		
財源合計	850 千円	0 千円	0 千円	0 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H26年度	H25年度	H24年度			
						実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標			
						達成率	達成率	達成率			
		健康フェスタ（6月・2月）			回	2 / 2	100%	3 / 3	100%	/	
						/		/		/	
						/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/		円						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市民の食と健康に対する意識の高揚を図る。									
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H26年度	H25年度	H24年度			
						実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標			
						達成率	達成率	達成率			
		健康フェスタ（6月・2月）			人	1201 / 500	240%	250 / 300	83%	/	
		健康意識の向上した市民（アンケート）			人	129 / 200	65%	/		/	
						/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額（予定）： 850 (千円)</p> <p>☆健康フェスタを実施して市民の健康づくりの意識高揚を図っている。内容としては、健康相談、健康づくり講演会、健康機器体験会、ソフトヨガ教室等の各種教室や本市の食材を使った試食コーナーを実施し「食」についての意識高揚を図っている。健康フェスタごとにアンケートを実施し市民の意見を反映させて次年度以降も継続していく。</p> <p>☆関連各課や関係機関（行方市食生活改善推進員協議会、行方市スポーツ推進委員会、大塚製菓株式会社）と連携して実施していく。（平成27年6月包括連携協定締結：大塚製菓株式会社）</p>										
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	☆潮来市→H26年度2回実施（春の健康フェスタ3月、秋の健康フェスタ10月）									
特記事項											

事業シート (概要説明書)			事業番号	105									
予算事業名	健康まちづくり推進事業		事業開始年度	H23									
事務事業名	ウォーキング大会実施事業		担当局・部名	保健福祉部									
上位施策名	成人・高齢者保健対策の推進		担当課・課名	健康増進課									
根拠法令等	行方市ウォーキング大会事業補助金交付要綱、行方市ウォーキング実行委員会設置要綱		グループ係名	総務企画G									
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者	河野久三子									
実施の背景	平成20年度に特定健診のメタボ予防、健康づくりを目的として国保年金課で開始するが、平成23年度から健康づくり推進事業として健康増進課へ移管となる。開催場所については、玉造地区→北浦地区→麻生地区の順番で実施している。												
目的 (何をどうしたいのか)	ウォーキングをきっかけとして、市民ひとり一人が健康について考え、運動習慣を持つことにより、生活習慣病を予防し、健やかなまちづくりを目指す。												
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市民 (小学生以上)		対象者数 (全住民に対する割合) 34,500 人 (97 %)									
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接] (補助先: ウォーキング実行委員会 実施主体: ウォーキング実行委員会) <input type="checkbox"/> その他 ()											
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (簡条書き)	事業費	活動指標									
		ウォーキング大会 (4kmコース・6kmコース)	219 千円	健康なめがた第6回ウォーキング大会									
			千円										
		千円											
関連事業 (同一目的事業等)													
コスト	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)					
	事業費合計	670 千円		219 千円		602 千円		千円					
	事業費内訳 (平成26年度分)	ウォーキング大会補助金 218,960円											
	年度	27年度				26年度				25年度			
	担当正職員	0.5	人	2,010	千円	0.5	人	2,137	千円	0.5	人	2,154	千円
	臨時職員等	0.0	人		千円	0.0	人		千円	0.0	人		千円
	人件費合計	0.5	人	2,010	千円	0.5	人	2,137	千円	0.5	人	2,154	千円
	総事業費	2,680 千円				2,356 千円				2,756 千円			
	人件費比率	75%				91%				78%			
	財源内訳	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)				
国県支出金		千円		千円		千円		千円					
内容													
地方債		千円		千円		千円		千円					
その他特財		千円		千円		千円		千円					
内容													
一般財源		670 千円		219 千円		602 千円		千円					
財源合計	670 千円		219 千円		602 千円		0 千円						

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		ウォーキング大会実行委員会		回	5 / 5	100%	5 / 5	100%	5 / 5	100%
		ウォーキング大会		回	1 / 1	100%	1 / 1	100%	1 / 1	100%
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市民の健康づくりの意識高揚と生活習慣病の予防。								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		ウォーキング大会実行委員会		回	5 / 5	100%	5 / 5	100%	5 / 5	100%
		ウォーキング大会 (11/8)		人	128 / 300	43%	0 / 300	0%	217 / 300	72%
					/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 700 (千円)</p> <p>☆市民の健康づくりの意識高揚とウォーキングは生活習慣病の予防に効果的なことから、ウォーキング大会を今後も継続して実施していく。</p> <p>☆ウォーキングの自主グループが5団体となり、各団体で自主的に活動していることから、ウォーキング実行委員会と連携してウォーキング大会を運営できるよう検討していく。</p>									
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>☆近隣市町村の状況 潮来市：2回実施(4月、3月)、銚田市：1回実施(12月)、鹿嶋市：2回実施(3月、1月)、神栖市：1回実施(10月)</p>								
特記事項										

事業シート (概要説明書)		事業番号	235									
予算事業名	社会体育振興事業		事業開始年度	H21								
事務事業名	チャレンジデー開催事業		担当局・部名	教育委員会								
上位施策名	生涯スポーツの促進		担当課・課名	スポーツ振興課								
根拠法令等			グループ係名	社会体育G								
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事 (該当する方をクリック)		作成責任者	風間順一								
実施の背景	合併当時より年々規模が縮小している市民運動会の代替事業として5年間実施してきた。市民の運動する機会を減らさないように開催している。事業の今後については市民運動会と合わせて検討が必要。											
目的 (何をどうしたいのか)	チャレンジデーを実施することにより、普段から運動に親しむことの少ない市民が参加し、体を動かすことへのきっかけ作り・健康づくり・体力づくり・運動の習慣づけを目的としている。											
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市民・在学・行方市在勤者		対象者数 (全住民に対する割合) 36,960 人 (100 %)								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先: 行方市チャレンジデー実行委員会 実施主体: 行方市チャレンジデー実行委員会) <input type="checkbox"/> その他 ()										
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標								
		チャレンジデーは市民・在学・在勤者を対象として、笹川スポーツ財団から毎年5月最終水曜日に設定される開催日に全国118自治体(H26時点)内の同人口規模の自治体と15分以上の運動をおこなった人の参加率を競う住民参加型イベント。事業を通じて、運動のきっかけづくり、健康づくり、体力づくり、運動の習慣づけすることが目的。主な事業として、小中学生を対象としたロープ・ジャンプXや、事業所向けの事業PR活動、実行委員会本部事業として体力テスト、太極拳体験、バランスボール体験、ウォーキング体験、ニュースポーツ体験など毎年趣向を変え、運動の機運を高めている。	200 千円	参加率目標50%								
	関連事業 (同一目的事業等)	行方市民運動会										
コスト	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)				
	事業費合計	200 千円		200 千円		200 千円		200 千円				
	事業費内訳 (平成26年度分)	印刷費174,603円 消耗品 25,000円										
	年度	27年度			26年度			25年度				
	担当正職員	0.7	人	2,390 千円	0.7	人	2,410 千円	0.8	人	3,070 千円		
臨時職員等	0.0	人	千円	0.0	人	千円	0.0	人	千円			
人件費合計	0.7	人	2,390 千円	0.7	人	2,410 千円	0.8	人	3,070 千円			
総事業費	2,590 千円			2,610 千円			3,270 千円					
人件費比率	92%			92%			94%					
財源内訳	年度	27年度			26年度			25年度			24年度	
	国県支出金	千円			千円			千円			千円	
	内容											
	地方債	千円			千円			千円			千円	
	その他特財	千円			千円			千円			千円	
	内容											
一般財源	200 千円			200 千円			200 千円			200 千円		
財源合計	200 千円			200 千円			200 千円			200 千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		行方市チャレンジデー参加率		人	17373 / 37664	46%	17020 / 37298	46%	16325 / 37853	43%
					/		/		/	
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	5.4	円					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	今年度スポーツ推進計画策定中								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H27年度	達成率	H24年度	達成率	H19年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		週2回以上の運動(18歳以上) ※行方市スポーツ振興基本計画H20.3		%	/		/		37	/
週2回以上の運動(20歳以上男性) ※行方市健康づくり計画H25.3		%	/			35	/		/	
週2回以上の運動(20歳以上女性) ※行方市健康づくり計画H25.3		%	/			28	/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 250 (千円)</p> <p>今後の課題 本来、市民運動会の代替事業として取組み始めたものであったが、市民運動会もいまだ方向性が定まらないため、この事業を継続しており、両事業の方向性についてはセットで検討が必要である。また事業助成元の笹川スポーツ財団からの助成金も年々減少しているため(事業開始時と比較すると助成金は3割減)、事業継続のためには市として例年以上の予算措置が必要である。</p> <p>しかしながら、体を動かすためのきっかけ作りや健康づくり、体づくり、運動の習慣付けの啓蒙事業としては有意義な事業といえるし、ライフスタイルとして運動をまったくしない人が増加している世の中の現状を考えると、運動の意識付けは何らかの形で取組んでいくべき課題といえる。今後においては、より多くの市民に運動に親んでもらえるようにPRの形を考えていくとともに有益な情報を発信していくことで推進していきたい。</p>									
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	平成26年度は全国で118自治体が取組んだ事業であり、茨城県内では2つの自治体(行方市と常陸太田市)が取組んでいる。笹川スポーツ財団で毎年度組合せを発表し、同人口規模自治体同士で参加率を競うイベントで、毎年5月最終水曜日に行われる。行方市の過去5年の成績はH22参加率30.6%、H23参加率32.6%、H24参加率43.1%、H25参加率45.6%、H26参加率46.1%でした。								
特記事項	運動会との融合については、今まで両実行委員会では検討されてはいないため事務局としての考えとなるが、両事業の目的には共通する部分もあるため有意義と考えます。しかし、財団の助成しているチャレンジデー事業は毎年開催日が5月最終水曜日に限定されるため、このままの事業形態で融合するのは難しいと言えます。財団助成事業から離れて、市単独事業として何らかの機会に(ふれあいまつり等)スポーツレクリエーションブースを広く持ち、多くの人に運動に親んでもらう等の形をとれば両事業の目的を達成することができ、より効率的なのではないかと考えます。									

事業シート (概要説明書)		事業番号	233										
予算事業名	社会体育振興事業	事業開始年度	17年度										
事務事業名	市民運動会事業	担当局・部名	教育委員会										
上位施策名	生涯スポーツの促進	担当課・課名	スポーツ振興課										
根拠法令等	なし	グループ係名	社会体育G										
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	平山久生										
実施の背景	合併前から旧三町とも実施してきた事業である。合併後も5年間は三地区それぞれで開催してきた。平成22年度からは統合し一会場で開催している事業である。平成25年度には、マンネリ化している種目・内容を再検討し、実施している。												
目的 (何をどうしたいのか)	市民にスポーツレクリエーション実践の機会をつくり、心身とも健康な市民の育成に努めるとともに、市民間の交流をはかり相互(三地区)の親睦を深める機会とする。また、併せて健康づくりに寄与する。												
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全市民(三世代)	対象者数(全住民に対する割合) 人 (%)										
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :) <input type="checkbox"/> その他 ()											
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容(箇条書き)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>活動指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>競技種目(11種目)、幼稚園・保育園児の遊戯、アトラクション(2団体)</td> <td>1,609 千円 一般参加者数 1,569人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	活動指標	競技種目(11種目)、幼稚園・保育園児の遊戯、アトラクション(2団体)	1,609 千円 一般参加者数 1,569人		千円		千円		千円
	事業費	活動指標											
競技種目(11種目)、幼稚園・保育園児の遊戯、アトラクション(2団体)	1,609 千円 一般参加者数 1,569人												
	千円												
	千円												
	千円												
関連事業 (同一目的事業等)	総合スポーツ大会(社会人)、チャレンジデー事業												
コスト	年度	27年度(予算)	26年度(決算見込み)	25年度(決算)	24年度(決算)								
	事業費合計	1,985 千円	2,142 千円	1,985 千円	1,532 千円								
	事業費内訳 (平成26年度分)	・需用費1,501,313円(消耗品費1,092,000円、食料費245,747円、印刷製本費 163,566円) ・役務費79,424円(郵送料20,500円、手数料58,921円) ・委託料28,080円(花火打上げ)											
	年度	27年度		26年度		25年度							
担当正職員	0.55 人	1,952 千円	0.50 人	1,688 千円	0.45 人	1,683 千円							
臨時職員等	0.25 人	450 千円	0.30 人	540 千円	0.20 人	360 千円							
人件費合計	0.80 人	2,402 千円	0.80 人	2,228 千円	0.65 人	2,043 千円							
総事業費	4,387 千円		4,370 千円		4,028 千円								
人件費比率	55%		51%		51%								
財源内訳	年度	27年度		26年度		25年度		24年度					
	国県支出金	千円		千円		千円		千円					
	内容												
	地方債	千円		千円		千円		千円					
	その他特財	千円		千円		千円		千円					
	内容												
一般財源	1,985 千円		2,142 千円		1,985 千円		1,532 千円						
財源合計	1,985 千円		2,142 千円		1,985 千円		1,532 千円						

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率
		市民運動会	大会	1 / 1	100%	1 / 1	100%	1 / 1	100%	
					/		/		/	
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	1,608,817	円					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市民間（三世代・三地区）の交流と親睦を深めることを目的として、合併当初、三地区それぞれで実施してきたが、平成22年度からは、統合一会場で実施している								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率
		一般参加者	人	1569 / 2500	63%	2146 / 2800	77%	2941 / 3000	98%	
				/		/		/		
					/		/		/	
	実績期間（月） / 目標設定期間（月）				/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	※平成28年度予算要望額（予定）				1,900	(千円)				
	一般参加者で一番参加率の高い「スポーツ少年団」が小学校の統合により、団数及び団員数（平成22年度38単位団635人から平成26年度25単位団493人）が減少したため、運動会の参加者数も減少傾向にある。全体の参加者数は、平成23年度2983人をピークに平成26年度1,569人まで減少している。また、市内各小学校の運動会の開催時期が、これまで9月初旬から中旬に実施していたものが、「暑さ対策」のため9月下旬から10月にずれ込んでおり、今後、市民運動会と重なってしまう恐れがあることが懸念される。今年度については、スポーツ推進委員会と6月から事前検討会議を開き「種目・内容等の再検討及び参加者数の増員に向けた取り組み方法等」の検討・行動し運動会を実施していきます。									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	近隣市町村の状況 で実施（神栖市） ・ 地区ごとに実施（潮来市、鹿嶋市） ・ 未実施（鉾田市） ・ 全市									
特記事項	・ 「行方市スポーツ推進委員会」としては、今後も「継続していきたい事業」で意見がまとまっている。									

事業シート (概要説明書)		事業番号					
予算事業名	地域自殺対策緊急強化事業	事業開始年度	平成22年度				
事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業	担当局・部名	保健福祉部				
上位施策名	精神保健対策の推進	担当課・課名	社会福祉課				
根拠法令等		グループ係名	社会福祉課G				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事 (該当する方をクリック)	作成責任者	池辺				
実施の背景	全国の自殺者数はH23年まで14年連続で3万人を超える高い水準で推移していた。平成26年中における自殺者の総数は2万5427人で、前年に比べると1,856人減少した。また、茨城県の平成26年中における自殺者数は570人で、前年に比べて45人減少した。年々減少傾向ではあるが、支援体制の強化、人材の養成及び普及啓発を柱とし、地域の実情に応じた自殺対策を推進していく必要がある。						
目的 (何をどうしたいのか)	市民が自殺について関心を深め、相談機関等に関する知識を持つことにより、適切な行動をとる。また、地域の関係機関が連携し、悩みを抱える人への支援を行う。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	一般市民	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施					
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :)					
		<input type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :)					
		<input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標				
	普及啓発事業 (メンタルチェックシステムこころの体温計)	224 千円	総アクセス数23,992件				
	普及啓発事業 (他年度は講演会等実施)	千円					
		千円					
関連事業 (同一目的事業等)							
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	事業費合計	537 千円	224 千円	535 千円	558 千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	委託料 (導入・カスタマイズ費用) : 108,000円 使用料及び賃借料 (管理費) : 20,088円 印刷製本費 : 95,040円					
	年度	27年度		26年度		25年度	
	担当正職員	0.1 人	113 千円	0.1 人	224 千円	0.2 人	448 千円
	臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円
	人件費合計	0.1 人	113 千円	0.1 人	224 千円	0.2 人	448 千円
	総事業費	650 千円	448 千円	983 千円			
	人件費比率	17%	%	50%	%	46%	%
	財源 内訳	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)	
国県支出金		268 千円	224 千円	535 千円	558 千円		
内容		地域自殺対策緊急強化事業補助金 (県支出金)	地域自殺対策緊急強化事業補助金 (県支出金)	地域自殺対策緊急強化事業補助金 (県支出金)	地域自殺対策緊急強化事業補助金 (県支出金)		
地方債		千円	千円	千円	千円		
その他特財		千円	千円	千円	千円		
内容							
一般財源		269 千円	千円	千円	千円		
財源合計	537 千円	224 千円	535 千円	558 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		こころの体温計アクセス数		件	23992 /		0 / 0		0 / 0	
					/		/		/	
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	委託料	円					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	自殺対策についての普及啓発を行い、自殺者数を減らす。								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		年間自殺者数		人	7 / 0	#DIV/0!	8 / 0	#DIV/0!	5 / 0	#DIV/0!
					/		/		/	
					/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	※平成28年度予算要望額(予定) : 461 (千円) ゲートキーパー養成講座を開催し、周囲の人が異変に気づき、適切な対応ができるような人材を育てる。また、こころの体温計で自殺対策についての普及啓発を行い、自分自身や身近な人がこころの状態をチェックすることで自殺の危険を示すサインを早期発見できるようにする。									
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	近隣市町村も自殺に対する普及啓発活動に留まる(広報・キャンペーン)								
特記事項										

事業シート (概要説明書)			事業番号	119		
予算事業名	精神保健事業		事業開始年度	H17		
事務事業名	精神保健事業 (こころの健康相談・デイケア事業)		担当局・部名	保健福祉部		
上位施策名	精神保健対策の推進		担当課・課名	健康増進課		
根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		グループ係名	健康増進		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者	鈴木千代子		
実施の背景	・うつ病患者、自殺者の増加等にみられるような、最近の社会の複雑化に伴い、こころの健康づくり対策の重要性が再確認されている。 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により、市町村精神は障害者及びその家族等からの相談に応じることとされている。					
目的 (何をどうしたいのか)	・一般市民のこころの健康を保持増進する。 ・精神障害者の社会復帰を支援するとともに、家族の精神的負担を軽減し、地域で安心して暮らせるように支援する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	一般市民・精神障害者と家族等		対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :) <input type="checkbox"/> その他 ()				
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	関連事業 (同一目的事業等)	・自殺対策事業 (社会福祉) ・障害者相談及び、相談支援事業 (障害福祉) ・地域移行支援				
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)	
	事業費合計	445 千円	275 千円	336 千円	432 千円	
	事業費内訳 (平成26年度分)	報償費 220,000 消耗品費 46,000 使用料及び賃借料 9,000				
	年度	27年度		26年度		25年度
担当正職員	0.2 人	593 千円	0.1 人	414 千円	0.6 人	2,538 千円
臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円
人件費合計	0.2 人	593 千円	0.1 人	414 千円	0.6 人	2,538 千円
総事業費	1,038 千円		689 千円		2,874 千円	
人件費比率	57%		60%		88%	
財源内訳	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)	
	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	内容					
一般財源	445 千円	275 千円	336 千円	432 千円		
財源合計	445 千円	275 千円	336 千円	432 千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
				回	24 / 24	24 / 24	24 / 24
				回	8 / 18	9 / 18	13 / 18
					/	/	/
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	相談利用者数	円	13,750	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	・参加者の社会復帰率や相談利用者の満足度などが指標になると思われるが、事業参加者の特性から、利用状況のみを指標とした。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
				人	133 / 432	145 / 432	147 / 432
				人	16 / 54	16 / 54	26 / 54
					/	/	/
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 445 (千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26年度は社会福祉課障害グループに保健師が配属になったため、社会福祉課で対応した。 ・27年度について、社会福祉課・社会福祉協議会を交えての協議の結果、健康増進課での対応になった。 ・こころにかかわるメイン事業である自殺対策は社会福祉課の事業。 ・障害福祉関連法案の改正等により、精神障害者の福祉サービスは充実してきている。 ・デイケアと就労支援事業所と併用している方もいる。(13人中10人) ・民間サービスとの兼ね合いを考えながら、デイケアの今後の在り方を検討していく。 ・保健福祉部は五造庁舎であり、健康増進課は北浦保健センターにある。相談対応や情報共有のために往復する必要があるなど、連携をとるための労力を必要とする。 						
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>デイケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銚田市 月4回 ・潮来市 月2回 <p>こころの相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銚田保健所 精神科医 月1回 ・銚田市 実施なし ・潮来市 精神科医 月1回 					
特記事項	<p>介護福祉課(地域包括支援センター)・社会福祉課への相談は多い</p> <p>精神保健福祉手帳 150人(26. 3. 31現在)</p>						

事業シート (概要説明書)		事業番号	102				
予算事業名	地域医療対策事業	事業開始年度	H19				
事務事業名	病院群輪番制病院運営事業	担当局・部名	保健福祉部				
上位施策名	地域医療体制充実促進	担当課・課名	健康増進課				
根拠法令等	医療法第30条の4、病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱	グループ係名	総務企画G				
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	河野久三子				
実施の背景	平成19年4月から休日及び夜間における救急患者の医療の確保のため、なめがた地域総合病院、銚田病院、高須病院、小美玉市医療センターにより病院輪番制を実施している。救急車により直接搬送されてくる、またはかかりつけの診療所や初期救急医療機関から転送されてくる重症救急患者に対応するために設置。						
目的 (何をどうしたいのか)	住民が安心して医療が受けられる体制づくりとして、休日、夜間における救急患者への医療確保のため。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市全員	対象者数 (全住民に対する割合) 35,556 人 (100 %)				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 間接] (補助先: 4病院 実施主体: 小美玉市) <input type="checkbox"/> その他 ()					
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き) 銚田地域 (行方市、小美玉市、銚田市) の4医療機関での休日、夜間における救急患者の受け入れ ※消防署と連携	事業費 12,590 千円 活動指標 利用総数 2,241人 なめがた地域総合病院 1,431人 銚田病院 495人 高須病院 147人 小美玉市医療センター 168人				
	関連事業 (同一目的事業等)						
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	事業費合計	12,613 千円	12,590 千円	34,308 千円	34,707 千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	銚田地域病院群輪番制病院運営費補助 12,590,000円					
	年度	27年度		26年度		25年度	
	担当正職員	0.2 人	875 千円	0.3 人	1,310 千円	0.3 人	1,321 千円
	臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円
	人件費合計	0.2 人	875 千円	0.3 人	1,310 千円	0.3 人	1,321 千円
	総事業費	13,488 千円		13,900 千円		35,629 千円	
	人件費比率	6%		9%		4%	
	財源内訳	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)	
国県支出金		千円	千円	千円	千円		
内容							
地方債		千円	千円	千円	千円		
その他特財		千円	千円	21,723 千円	21,702 千円		
内容							
一般財源		12,613 千円	12,590 千円	12,595 千円	13,005 千円		
財源合計	12,613 千円	12,590 千円	34,318 千円	34,707 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		銚田地域病院群輪番制病院当番日程調整会議		回	2 / 2	100%	2 / 2	100%	2 / 2	100%
					/		/		/	
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	休日、夜間における救急患者の受け入れ。								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		銚田地域病院群輪番制病院の患者数 (なめがた地域総合病院)		人	1431 / 1500	95%	1518 / 1500	101%	1393 / 1500	93%
					/		/		/	
					/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額（予定）： 12,700 (千円)</p> <p>☆搬送機関と医療機関との連絡体制の整備により、救急搬送体制の充実を図っていく。</p>									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>☆銚田地域における病院群輪番制病院運営事業は、銚田市・小美玉市・行方市が2年ごとに当番制をとり、平成25年度は行方市が当番市であったが、平成26年度～27年度は小美玉市が当番市になって運営している。平成28年度からは銚田市が当番市となって運営されていく。</p> <p>☆近隣では、鹿行南部地域（潮来市、鹿嶋市、神栖市）で小山記念病院、白十字総合病院、鹿島労災病院、神栖済生会病院で病院群輪番制を実施している。</p>									
特記事項										

事業シート (概要説明書)		事業番号											
予算事業名	地域医療対策事業	事業開始年度	H16										
事務事業名	夜間小児救急診療所運営事業	担当局・部名	保健福祉部										
上位施策名	地域医療体制充実促進	担当課・課名	健康増進課										
根拠法令等	医療法第30条の4	グループ係名	総務企画G										
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	河野久三子										
実施の背景	平成16年1月から小児救急として鹿嶋市夜間小児救急診療所を鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市の5市で費用を負担して運営開始。平日及び休日の夜間に比較的軽症な救急患者の受け入れをする夜間小児救急診療所として設立された。												
目的 (何をどうしたいのか)	住民がいつでも安心して医療を受けることができる医療体制の充実。												
対象 (誰・何を対象に)	行方市内 (中学生以下)	対象者数 (全住民に対する割合)											
		3,840 人	(10.8 %)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接 <input checked="" type="checkbox"/> 間接] (補助先: 鹿嶋市夜間小児救急診療所 実施主体: 鹿嶋市) <input type="checkbox"/> その他()												
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標										
	急な発熱などに対する応急診療	581 千円	H26 利用者数79人										
		千円											
		千円											
関連事業 (同一目的事業等)													
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)								
	事業費合計	642 千円	581 千円	390 千円	319 千円								
	事業費内訳 (平成26年度分)	夜間小児救急診療所協定市負担金 581,000円											
内訳	年度	27年度			26年度			25年度					
	担当正職員	0.3	人	1,005 千円	0.3	人	1,068 千円	0.3	人	1,321 千円			
	臨時職員等	0.0	人	千円	0.0	人	千円	0.0	人	千円			
	人件費合計	0.3	人	1,005 千円	0.3	人	1,068 千円	0.3	人	1,321 千円			
	総事業費	1,647 千円			1,649 千円			1,711 千円					
	人件費比率	61%			65%			77%					
財源	年度	27年度 (予算)			26年度 (決算見込み)			25年度 (決算)			24年度 (決算)		
	国県支出金	千円			千円			千円			千円		
	内容												
	地方債	千円			千円			千円			千円		
	その他特財	千円			千円			千円			千円		
	内容												
一般財源	642 千円			581 千円			390 千円			319 千円			
財源合計	642 千円			581 千円			390 千円			319 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		夜間小児救急診療所協定市会議		回	1 / 1	100%	1 / 1	100%	1 / 1	100%
					/		/		/	
					/		/		/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	夜間（午後8時から11時まで）の小児救急患者受け入れのための医療確保。								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	達成率	H25年度	達成率	H24年度	達成率
					実績 / 目標		実績 / 目標		実績 / 目標	
		夜間小児救急診療所の患者数		人	79 / 100	79%	90 / 100	90%	95 / 100	95%
					/		/		/	
					/		/		/	
次年度以降事業の方向性 (課題・改善策)	※平成28年度予算要望額（予定）： 700 (千円) ☆ホームページ、広報、各施設へちらし等で情報提供して継続実施していく。 ☆軽症な救急患者については対応できるが、検査や本格的な治療が必要な場合は近隣の総合病院と連携をとりながら対応していく。二次救急としては、銚田地域病院群輪番制や小児救急医療拠点病院と連携して医師確保していく。									
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	☆近隣では、石岡市と土浦市で小児の救急診療所を設置している。 ☆土浦協同病院（二次、三次救急病院）と神栖済生会病院（二次救急病院）が小児救急医療拠点となっている。								
特記事項										